

「ほんのまくら 2017」解答リスト ～わかぎり図書館～

No	本のまくら	本のタイトル	著者	出版社	分類
1	中学に入学したお祝いに、るり姉は図書カードを一万円分くれた。	るり姉	椰月美智子	双葉文庫	913.6
2	あなたのぬいぐるみは、真夜中の図書館で何をしているの？	ぶたぶた図書館	矢崎存美	光文社	913.6
3	数十年分の風雨にさらされてきたことを証明するように、そのコンクリート製の壁面には無数の小さなひび割れや色濃く滲んだシミと汚れが見て取れた。	ゲゲゲの鬼太郎	水木しげる／原案 沢村光彦／著	角川書店	913.6
4	「次は玉ねぎを炒めて」下河辺靖子先生はボウルを傾け、みじん切りの塊を一旦にフライパンに滑り入れた。	菜の花食堂のささやかな事件簿	碧野圭	大和書房	913.6
5	この世で一番美しい目玉焼きを作ろうとしたのは、ぼくが七歳のとき。	まいごなぼくらの旅ごほん	マサト真希	KADOKAWA	913.6
6	高校を卒業する前に偶然、街頭インタビューのようなものを受けたことがある。	和菓子のアン	坂木司	光文社	913.6
7	思わず名前を口にしてしまった。それどころか「ちゃん」まで付けそうになって、哲也はあわてて口をつぐんだ。	なきむし姫	重松清	新潮社	913.6
8	雲一つないのに雷が落ちることがある。これを「晴れ雷」と呼ぶ。	雷獣びりびり 大江戸あやかし 犯科帳	高橋由太	徳間書店	913.6
9	玉響通りという場所がある。	路地裏のあやかしたち	行田尚希	アスキー・メディア ワークス	913.6
10	その男は、桜のモチーフを多用した。	サクラの音がきこえる	浅葉なつ	アスキー・メディア ワークス	913.6
11	私のドーナツとの出会いはいつだったろうか。	なんとってドーナツ	早川茉莉／編	筑摩書房	914.6
12	海の向こうで三年働けば、日本で一生楽に暮らせる。	バンクーバーの朝日	西山繭子	マガジンハウス	913.6
13	目を覚ますと、風景は変わっていた。	多摩川物語	ドリアン助川	ポプラ社	913.6
14	その日はお休みだったので、ねむりっこは、鴨川の土手にやってきました。	あなたのために、ネコはゆく	永田ガラ	KADOKAWA	913.6
15	「そんなの簡単じゃねえか」酔うとすぐにそう言い出すのが、市助の悪いくせである。	江戸猫ばなし	赤川次郎 ほか	光文社	913.68
16	桓武天皇の御代、万葉の地をあとにして、大勢の人間たちが京都へ乗りこんできた。	有頂天家族	森見登美彦	幻冬舎	913.6
17	子どもの頃、ボクはよく飛ぶ夢を見た。	ボクの先生は山と川	矢口高雄	講談社	914.6
18	「ふざけるな！」片桐裕吾は太腕で文机を叩いた。	幕末まらそん侍	土橋章宏	角川春樹事務所	913.6
19	まぶたの裏に光を感じ、佳乃はわずかに身じろぎした。	海街diary	高瀬ゆのか／著 吉田秋生／原作	小学館	913.6
20	二十一時五十分、ミラノ・リナーテ発。	トリエステの坂道	須賀敦子	新潮社	914.6
21	東大寺の大仏殿は、四六時中観光客で賑わっているが、そこから裏側へ回って行くと、まるで別世界のように静かな一廓がある。	名人は危うきに遊ぶ	白洲正子	新潮社	914.6
22	卓上アナログ時計の秒針が、放送開始10秒前を指した。	放送中です！にしおぎ街角ラ ジオ	岬鷺宮	KADOKAWA	913.6
23	やわらかなぬくもりのなか、わたしは薄く目を開けた。	ライアの祈り	森沢明夫	小学館	913.6

24	グリム童話集に「こわがることをおぼえようと旅に出た男の話」というのがある。	絵合せ	庄野潤三	講談社	913.6
25	新宿駅東口の駅前広場をふらふらと歩いてくる若者がいる。	横道世之介	吉田修一	文藝春秋	913.6
26	いらっしゃいませ、四つ葉坂郵便屋へようこそ。	四つ葉坂よりお届けします	きりしま志帆	集英社	913.6
27	何度確かめても、受け取った名刺には、「渡来真緒」とある。	陽だまりの彼女	越谷オサム	新潮社	913.6
28	ぼくはたいへん頭が良く、しかも努力をおこたらずに勉強するのである。	ペンギン・ハイウェイ	森見登美彦	角川書店	913.6
29	「おねがいします」対局室に二人の声が同時に響いた。	サラの柔らかな香車	橋本長道	集英社	913.6
30	いってきます、という声とともに廊下を横切った幸臣が全身紺色に見え、おや、と首を傾げてすぐに、あ、そうか、と気づく。	時の畏	辻村深月 ほか	文藝春秋	913.68
31	「おまはん、六月から兎一郎と組みい」と健が銀大夫に言われたのは、春もまだ浅いころのことだった。	仏果を得ず	三浦しをん	双葉社	913.6
32	風早駅前商店街の、その立派なアーケードのいちばん奥の辺り。昔の戦争のあと、焼け跡からいち早く復活したいくつかの店の、その中でも特に古い店は、長い歴史を持つお花屋さんでした。	花咲家の人々	村山早紀	徳間書店	913.6
33	武蔵野グリーン・テニスクラブの喫茶室。葡萄ジュースがやけにうまかった。	しゃべれどもしゃべれども	佐藤多佳子	新潮社	913.6
34	私の書斎のいろいろながらくた物などいれた本箱の抽匣に昔からひとつの小箱がしまっている。	銀の匙	中勘助	岩波書店	913.6
35	「可視光では真っ黒、赤外線観測による表面温度は二八〇Kか」	日本SF短篇50 第5巻	林譲治 ほか	早川書房	913.68
36	坂東の地である江戸が、徳川という新しい領主を迎え、発展し始めた頃のこと。	Fantasy Seller	畠中恵 ほか	新潮社	913.68
37	泉鏡花の『縷紅新草』を読んでいたら、お兄ちゃんが部屋に入ってきた。	九つの、物語	橋本紡	集英社	913.6
38	毎週土曜日の午後、私は歩いて十分ほどのところにある一軒の家に向かう。	日日は好日	森下典子	新潮社	791.04
39	あらためて思うに、野球というのは実に危険なスポーツである。	弱くても勝てます	高橋秀実	新潮社	783.7
40	正義の味方と聞くと、みなさんは誰を思い浮かべますか？	わたしが正義について語るなら	やなせたかし	ポプラ社	158
41	ちょっと前の日本の暮らしを思い出してみよう。	ちょっと前の日本の暮らし	中川誼美	中央公論新社	689.81
42	「なぜ遺跡ばかり旅行するのですか？」これまで、何度同じ質問を受けてきたことでしょうか。	死ぬまでに一度は行きたい世界の遺跡	鎌倉淳	洋泉社	290.9
43	たとえば、Tシャツにショートパンツ、サンダルばきで登山というのは、いけません。東京郊外の高尾山くらいの山だって、そんな軽い気分で登ったら、危険がいっぱいあってな！	童話作家になる方法	斉藤洋	講談社	901
44	世界で最も高い山はエベレストで高さは8848メートルですが、最も深い海は何メートルの深さでしょうか。	深海生物捕った、育てた、判った！	石垣 幸二	小学館	481.74
45	最近、何となく脳が冴えないと感じることがないでしょうか？	脳が冴える15の習慣	築山節	日本放送出版協会	498.39
46	みなさんは江戸城というと何を思い浮かべますか？	江戸城を歩く	黒田涼	祥伝社	291.36
47	落語家という商売をしていると、よくこんな質問をされます。	落語家はなぜ噺を忘れないのか	柳家花緑	角川SSコミュニケーションズ	779.13

48	イヌについて考えることは、人間について考えること。	イヌ好きが気になる50の疑問	吉田悦子	ソフトバンククリエイティブ	645.6
49	ピアノは「私の命」です。	たどりつく力	フジコ・ヘミング	幻冬舎	762.1
50	鉄道のことを、どれほどご存じですか？	誰かに話したくなる大人の鉄道 雑学	土屋武之	SBクリエイティブ	686.21
51	昔の年寄りにはどんな楽しみがあったのだろうか？	老残のたしなみ 日々是上機嫌	佐藤愛子	集英社	914.6
52	病室の暖房による気温差で、窓はうっすらと湿っている	君の色に耳をすまして	小川晴央	KADOKAWA	913.6
53	神去村の住人には、わりとおっとりした人が多い。	神去なあなあ日常	三浦しをん	徳間書店	913.6